

No 42

Japan
Handball
Association



社会人
学生
高専
高体連
中体連
小学生

○ 全国大会
□ ブロック大会
□ 都道府県大会

○ 男子
□ 女子

試合
番号
アリーナA-男35

ハンドボール

年月日 2023年7月28日(金)
大会名 令和5年度全国高等学校総合体育大会ハンドボール競技大会

公式記録用紙

A 山口県立岩国工業高等学校										和歌山県立粉河高等学校										B	
北海道			函館市				函館アリーナAコート						3回戦								
前半	A	B	最終結果	A	B	第1延長	A	B	第2延長	A	B	7m70-ID750	A	B							
7m得点/総数	A		チームタイムアウト						チームタイムアウト			B	7m得点/総数								
	2/3		1	2	後3				1	2	後3	2/2									
			2749	2729					2548	1212											
No.	岩国工業				G	W	2'	D	DR	No.	粉河				G	W	2'	D	DR		
1	川本 健太									1	前川 凜太										
2	都志見 拓斗									2	大村 優羽				5						
3	岩本 悠輝				2					3	山田 阿東無				5						
4	守山 宗汰				3		1			4	小泉 侑磨				1		1				
5	大谷 翼				1					5	中野 匠										
6	桑原 楽									6	武内 惺				5						
7	富田 海惺				2		1			7	山本 裕心										
8	河上 由都輝				2		1			8	松田 知紘						1				
9	瀧口 翔				4					9	松下 利輝										
10 c	松本 一徳				14					10 c	松原 悠斗				3						
11	濱重 凜久				4					11	平 佑斗				1						
12	金村 晃己									12	上東 伸太郎										
13	御手洗 秀信				4					14	鈴木 龍旺				2						
14	弥永 航大									15	久保 颯真				1						
監督A	倉谷 康彦									監督A	大串 有高										
役員B	上田 岳史									役員B	門田 敏樹										
役員C	重弘 大輝									役員C	久保 彩夏										

A *岩国工業* チーム役員A署名 *大串有高* B

特記事項

レフェリー	大平 敦史	藤井 浩史	<i>大平敦史</i>	<i>藤井浩史</i>
TD	近嵐 成幸	斎藤 利明	<i>近嵐成幸</i>	<i>斎藤利明</i>
MO	正田 雅己		<i>正田雅己</i>	

得点(G),警告(W),退場(2),失格(D),報告書付き失格(DR)特記事項に報告書として内容を記入

No 43



Japan Handball Association

記録用紙
ランニングスコア

試合
番号

アリーナA-男35

年月日	2023年7月28日(金)	会場名	函館アリーナコート
大会名	令和5年度全国高等学校総合体育大会ハンドボール競技大会		

ハンドボール

A	山口県立岩国工業高等学校	36	VS	23	和歌山県立粉河高等学校	B	男子	3回戦
---	--------------	----	----	----	-------------	---	----	-----

スローオウ	粉河
-------	----

17	-	11
19	-	12
-	-	-
-	-	-
7mTC	-	-
-	-	-

No.	岩国工業	G	W	2'	D	DR
1	川本 健太					
2	都志見 拓斗					
3	岩本 悠輝	2				
4	守山 宗汰	3	1			
5	大谷 翼	1				
6	桑原 榮					
7	富田 海惺	2	1			
8	河上 由都輝	2	1			
9	瀬口 翔	4				
10 c	松本 一徳	14				
11	濱重 凜久	4				
12	金村 晃己					
13	御手洗 秀信	4				
14	弥永 航大					
監督A	倉谷 康彦					
役員B	上田 岳史					
役員C	重弘 大輝					

No.	粉河	G	W	2'	D	DR
1	前川 凜太					
2	大村 優羽	5				
3	山田 阿東無	5				
4	小泉 侑磨	1	1			
5	中野 匠					
6	武内 惺	5				
7	山本 裕心					
8	松田 知紘		1			
9	松下 利輝					
10 c	松原 悠斗	3				
11	平 佑斗	1				
12	上東 伸太郎					
14	鈴木 龍旺	2				
15	久保 颯真	1				
監督A	大串 有高					
役員B	門田 敏樹					
役員C	久保 彩夏					

Ref	大平 敦史	藤井 浩史
TD	近風 成幸	斎藤 利明
MO	疋田 雅己	

A			B			
背番	結果	得点	時間	得点	結果	背番
前半						
13	1	00	36			
8	S	02	28	1	O	6
4	2	03	08			
11	3	04	02			
		04	18	2		6
13	4	04	52			
		05	18	3		3
		05	32	4		10
		06	16	5		6
		07	49	6		3
9	5	08	27			
		10	22	7		4
10	O	6	10	54	S	8
13	7	12	59			
10	x	13	55			
		15	48	9		3
10	8	15	56			
		16	49	10		3
		20	38	11		2
10	9	21	03			
10	10	21	23			
8	11	23	25			
13	12	25	05			
9	13	25	48			
		25	48		T	
10	14	26	46			
		T	27	49		
10	O	15	28	19		
4	16	29	10			
9	17	29	44			
後半						
		02	49	12		3
		05	23	13		2
10	18	05	52			
7	19	06	11			
3	20	07	30			
		08	34	14		10
10	21	10	19			
7	22	12	12			
		12	12		T	
8	23	12	36			
7	S	13	20	15	O	6
10	24	13	48			
		14	53	16		10
10	25	15	29			
		15	57	17		14
10	26	16	23			
4	S	17	31			
		17	55	18		11

A			B			
背番	結果	得点	時間	得点	結果	背番
3	27	18	57			
		19	24	19		2
10	28	20	38			
		21	09	20		14
10	29	21	52			
		22	17		S	4
11	30	23	48			
		24	41	21		2
10	31	25	09			
4	32	25	38			
11	33	26	32			
		26	50	22		2
11	34	26	59			
		T	27	29		
9	35	28	03			
		29	31	23		15
5	36	30	00			
特記事項						

No 44

令和5年度全国高等学校総合体育大会ハンドボール競技大会
高松宮記念杯第74回全日本高等学校ハンドボール選手権大会

試合結果・戦評報告書

ハンドボール

競技日	2023年7月28日(金)		会場	函館アリーナ Aコート	
種別	男子		回戦	3回戦	
チーム名			チーム名		
県立岩国工業高等学校			県立粉河高等学校		
得点合計	小計		小計	得点合計	
36	17	前半	11	23	
	19	後半	12		
		第1延長前半			
		第1延長後半			
		第2延長前半			
		第2延長後半			
		7mTC			

戦評

出場校中、実績も実力も全国トップクラスの強豪山口県立岩国工業と、連日の接戦に勝利するも疲れを見せない和歌山県立粉河が3回戦で対戦。

前半開始直後、相手のミスから岩国⑬御手洗の速攻で先制。その後お互いに点を取り合うも、粉河⑩松原の速攻で同点、⑥武内が逆転のシュートを決め、ガッツポーズで会場が盛り上がる。さらに粉河GK⑪上東の好守からパスをつないで④小泉が得点し岩国を引き離しにかかるが、岩国の⑧河上と⑪濱重の巧みなパス回しで粉河は退場者を出してしまい岩国⑩松本が7mT、⑬御手洗の速攻で同点に追いつく。しかし岩国ディフェンスは粉河③山田を止められず、粉河②大村のポストシュートなどで前半20分には11対8、粉河のリードは3点差まで広がる。ここから岩国は本領を発揮し、前半23分に⑧河上の速攻で同点にすると、⑨濱口の速攻が決まり、逆に2点差をつけてリード、粉河は相手の流れを止めるためタイムアウトをとる。粉河は前半ラスト3分に7人攻撃を仕掛けるも、岩国GK⑫金村に決定機のサイドシュートを止められ、岩国が6点リードの17対11で前半を終了した。

後半、粉河は7人攻撃で点差を縮めにかかるが、岩国⑩松本のサイドシュート、③岩本の速攻、⑦富田のシュートが決まり、岩国が試合の主導権を握る。後半13分に岩国は退場者を出し、粉河⑥武内に7mTを決められるが、岩国③岩本が守備で頑張り⑩松本の変幻自在なサイドシュートで得点を重ねる。粉河は②大村のポストシュートなどで食い下がるが、7人攻撃の隙を突かれ無人のゴールに連続で得点されるなど、点差が縮まらない。試合終盤は岩国④守山、⑤大谷、⑧河上の連携した守備で、粉河の得点源③山田と②大村をしっかりと抑える。最後は岩国GK①川本が好セーブで試合を締め、岩国が36対23で粉河に勝利し、準々決勝へ進んだ。

記入者

石井 英紀